

Handwritten notes in cursive style, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the style of the writing.

創りては最初団体として一會見を因縁して之を折衝して
果漸く同日下午二時三十分より會見すべしとナリ 鉱山側より
高橋君等五社 山田君等係 其他 会社員數名は 席に先
づ 鉱山側より 諸君は 山一日時 行先又 方針等 如何に
リテハ 相當の 職名を 交へて 豫定に 付各個人に 母を 夫
明子スレハ ト 要求して 職首者 側より 幾河一 給子 了ん其
顔に 登臺す や 前々 於て 既に 在りて 又 白物等 一員 俵
等より 位ツテ 即ち 今も 方針 立す 難し ト 杯に 更ニ 既
後 不況 下 会社 一不況 時代 等々 之 豫定 之 甘んじ 尚且 会社
ト 共ニ 生命 其ニ 一トノ 莫 疑ク 以下 方針 之 遂行 之 會社